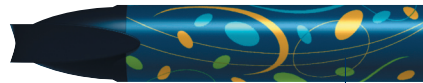


ノルディペン® 10
xx



キャップ

カートリッジホルダー



残量目盛 残量確認窓

本体

ピストン棒



ピストン棒リング



ダイヤル

注入ボタン

表示窓

ロット番号

注射針



針ケース

針キャップ

注射針



保護シール

ノルディロピン®S注10mg カートリッジ



ゴム栓

カラー帯

ゴムピストン

カラーキャップ

ノルディペン® 10
xx



ノルディペン10をご使用になる前に、ノルディロピンS注10mgに添付されている注意文書も併せてお読みください。また、必ず主治医の指示に従って正しくご使用ください。指示に従わなかった場合に生じた事故及び故障等につきましては弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。

ノルディペン10は、ノルディロピンS注10mg及びJIS T 3226-2に適合するJIS A形(型)専用注射針(使用例として、ペンニードル)との組み合わせでご使用ください。

本品は、JIS T 3226-1 (医療用ペン形注入器—第1部：ペン形注入器—要求事項及びその試験方法) に準拠しています。

ノルディペン®、NordiPen®及びノルディロピン®はNovo Nordisk Health Care AGの登録商標です。
ペンニードル®はNovo Nordisk A/Sの登録商標です。

目次

ページ

組み立て方	2
空気抜きと作動の確認（空打ち）	5
投与量の設定	6
注射	8
カートリッジが空になった時	10
使用上の注意	11
こんなトラブルがあった時は？（トラブル時の処置）	12
保管とお手入れ	14

*カートリッジ装着後2回目からの注射は、4ページ⑥から始めてください。

組み立て方



- 1 キャップをはずします。キャップはなくさないよう注意してください。
既にカートリッジが装着されている場合は、4ページ⑥に進んでください。



- 2 カートリッジホルダーを回しながらはずします。

- 3 表示窓が「0.0」になっていることを確認します。
「0.0」になっていない場合は、注入ボタンを押し込んでください。
本体のピストン棒リングを右に回し、ピストン棒を完全に本体中に入れます。

注意：ピストン棒を無理に押し込まないでください。故障の原因になります。

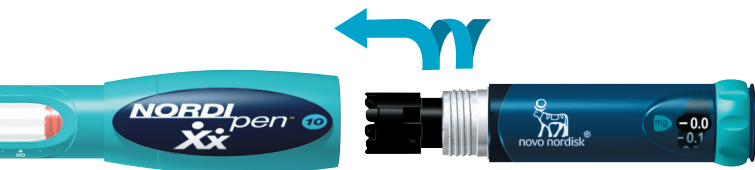


組み立て方



- 4 注意：使用する前に、カートリッジに損傷（ひび等）がないことを確認してください。少しでも損傷がある場合は使用しないでください。

カートリッジを、カラーキャップの方からカートリッジホルダーに入れます。



- 5 本体を回しながらカートリッジホルダーとしっかり組み立てます。
(誤ってダイヤルを回してしまった場合は13ページへ。)



- 6 カートリッジのゴム栓を消毒用アルコール綿でいいいに拭きます。
注射針の保護シールをはがし、ノルディペンの先に**まっすぐ**刺します(矢印1)。針ケースごと回しながら(矢印2)しっかりと取り付けます。
針ケースと針キャップを**まっすぐ**引っ張ってはずします。
針ケースは注射後に使用します。

空気抜きと作動の確認（空打ち）

7 カートリッジを装着・交換した場合は、必ず空打ちを行ってください。

空打ちの際には、針を上に向けたまま注入ボタンを押し、針先から液が出てくることを確認してください。

空打ちのしかた

表示窓が「0.0」になっていることを確認した後、ダイヤルを回して「0.1」に合わせます。

針を上に向けてカートリッジホルダーの上部を軽く数回はじき、空気を上に集めます。

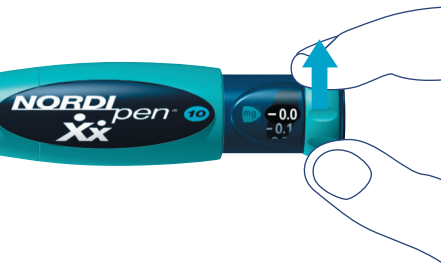
針を上に向けたまま注入ボタンを押し込みます。

針先から液が出てくることを確認してください。

液が出ない場合はこの操作を繰り返してください。ごく小さな気泡は完全に打ち出すことはできません。



投与量の設定



- 表示窓が「0.0」になっていることを確認します。「0.0」になっていない場合は、7ページ⑨の操作に従って戻してください。

ダイヤルを回して注射する量に合わせます。

- 9 ダイアルを必要量以上回しすぎてしまった場合は、図のように注入ボタン側を下に向けて、カートリッジホルダーと本体を反対に引っ張ったまま(矢印1)、注入ボタンを硬いものに押し当てながら押し込んでください(矢印2)。表示窓が「0.0」になっていることを確認した後、もう一度注射する量を設定し直してください。

注意：この操作を正しく行わなかった場合、針先から液が出てしまいますので注意してください。



注射

- 10 主治医に指示された方法で皮膚に針を刺し、注射を行ってください。

注射の際には、注入ボタンを完全に押し込んでください。

注意：絶対にダイヤルを回して注射をしようとしてしないでください。

完全に成長ホルモンを注入するために、注入ボタンを押し切った後、そのまま少なくとも6秒以上おいてから、注入ボタンを押し込んだ状態で針を皮膚から抜きます。

針を皮膚から抜くまでに、注入ボタンを押し続けている親指の力を緩めると、ごくまれにカートリッジ内に血液が混入することがあります。もしカートリッジに血液が混入した場合は使用しないでください。

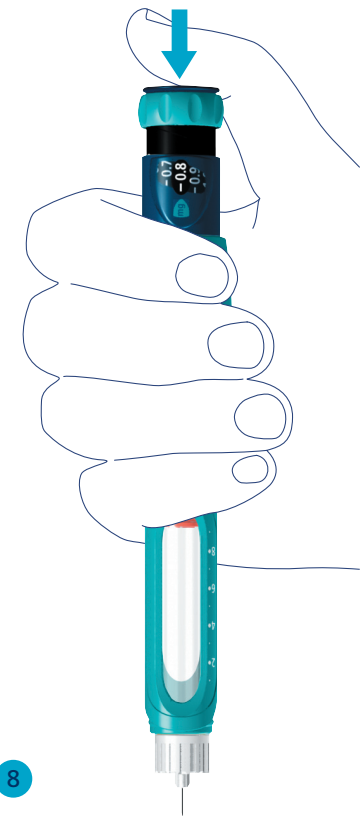
注射後は、表示窓を必ず確認してください。

注射が完了した場合は、「0.0」になっています。

カートリッジに十分な成長ホルモンが残っていなかった場合は、注入ボタンが完全に押し切れず、表示窓には不足分が表示されます。(→10ページ⑫)

注意：カートリッジが空の時、無理に注入ボタンを押ししたり、無理にダイヤルを「0.0」に戻そうとしないでください。

このような場合は、注射針をはずしてカートリッジを交換し、再度不足分を注射してください。



- 11 注射後は、注射針に針ケースを付け、回しながらはずします。主治医の指示に従って危険のないように捨ててください。

注意：針ケースをまっすぐ付けてください。斜めに付けると注射針が針ケースを突き抜けることがありますので注意してください。

注意：注射後は必ず注射針をはずしてください。注射針は毎回新しいものを、必ず注射直前に取り付けてください。（「保管とお手入れ」参照）

キャップを付け、ノルディペン10をケースに戻します。

注射針の取扱いについては主治医の指示に従い、不慮の針刺し事故を防ぐため十分注意してください。



カートリッジが空になった時

- 12 ノルディペン10では、カートリッジ中の成長ホルモン残量以上の投与量を設定することができますが、実際には残量分しか注射できません。

注意：カートリッジが空の時、無理に注入ボタンを押したり、無理にダイヤルを「0.0」に戻そうとしないでください。

注射後、表示窓には不足分が表示されません。

注射針をはずした後、2ページ 2 からのお操作に従ってカートリッジを新しいものに交換し、再度不足分を注射してください。



使用上の注意

- ノルディペン10をご使用になる前に、ノルディトロピンS注10mgに添付の注意文書も併せてお読みください。また、使用に際しては主治医の指示に従ってください。
- ノルディペンは、ノルディペン5(カラーコード：黄)とノルディペン10(カラーコード：青)の2規格あり、ダイアルの色で区別することができます。また、ノルディトロピンS注の箱やカートリッジのラベル、カラーキャップは、それぞれノルディペンと同じカラーコードを使用しています。
ノルディペン10には、必ずカラーコードが青色のノルディトロピンS注10mgをご使用ください。カートリッジをノルディペン10に装着する前に、カラーコードが一致していることを確認してください。
- カートリッジを交換したら必ず空打ちを行ってください。その際、ダイアルを「0.1」に合わせ、針を上に向けたまま注入ボタンを押して針先から液が出てくることを確認してください。
- ノルディペン10ではカートリッジ中の成長ホルモン残量以上の量を設定できますが、実際には残量分しか注射することはできません。もし、カートリッジ中の成長ホルモンが不足した場合には、注射後表示窓が「0.0」に戻らず、不足分が表示されますので、カートリッジを交換し、再度不足分を注射してください。
- 残量目盛ではおよその量しかわかりません。残量の確認のためにだけ使用し、注射する単位をはかる目的で使わないでください。
- 注射針の保護シールが破損している場合は使用しないでください。また、**他の人が使用したものを絶対に使わないでください。**
- 注射針はまっすぐ付けてください。斜めから取り付けると、ゴム栓側の針が曲がり、液が出なくなることがあります。
- 注射針は1回限りの使用になっています。使用後は針ケースを付け、主治医の指示に従って危険のないように捨ててください。
- 注射針の取扱いについては主治医の指示に従い、不慮の針刺し事故を防ぐため十分注意してください。
- 1本のノルディペン10を他の人と共有しないでください。
- ノルディペン10がトラブル時の処置(→12ページ)にもかかわらず正常に機能しない場合や故障の時には、自分で修理したりせず主治医にご相談ください。

こんなトラブルがあった時は？（トラブル時の処置）

★成長ホルモンの液が出ない

液が出るまで、①～⑦へ順に進んでください。

①カートリッジが空になっていませんか？

↳ 注射針をはずして新しいカートリッジに交換してください。（→10ページ⑫）

②カートリッジに空気がたくさん入っていませんか？

↳ 液が出るまで空打ちを繰り返し行ってください。（→5ページ⑦）（ごく小さな気泡は完全に打ち出すことはできません。）

③投与量の設定が正しくできていますか？

↳ ダイアルを回し、投与量を設定してください。

④本体とカートリッジホルダーとがしっかりと組み立てられていますか？

↳ 注射針をはずし、2ページ②～4ページ⑤の操作に従って確認してください。

⑤カートリッジの茶色のゴムピストンにピストン棒が密着していますか？

↳ ギョムピストンにピストン棒が密着し、液が出るまで、空打ちを繰り返し行ってください。（→5ページ⑦）

⑥新しい注射針に交換してください。

⑦予備があれば新しいカートリッジに交換してください。

★空打ちの時に、注入ボタンが押し切れない

①、②へ順に進んでください。

①針がつまっている可能性があります。

↳ 新しい注射針に交換し、針先から液が出てくるまで空打ちを行ってください。（→5ページ⑦）

②カートリッジが空になっていませんか？

↳ 注射針をはずして新しいカートリッジに交換してください。（→2ページ②～4ページ⑤）

★注射の時に、注入ボタンが押し切れない

★注射後に表示窓が「0.0」に戻らない

カートリッジが空になっていませんか？

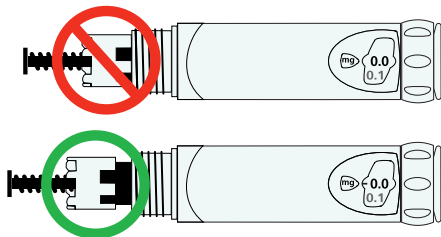
↳ 無理に注入ボタンを押ししたり、無理にダイアルを「0.0」に戻そうとしないでください。表示窓に不足分が表示されていますので、注射針をはずして新しいカートリッジに交換した後、再度不足分を注射してください。（→10ページ⑫）

★カートリッジの交換の時に

- ピストン棒リングが回らない
- 注入ボタンを押しても、表示窓は「0.0」に戻らない
- ピストン棒が戻らない

ピストン棒リングが固定(ロック)されていませんか？

⇒ ピストン棒リングを引っ張ってロックを解除してください(下図参照)。その後、注入ボタンを押して表示窓を「0.0」に戻してください。ダイヤルを回さないでください。



ポイント：ピストン棒リングが固定される原因は？
カートリッジが空の時、無理に注入ボタンを押すと起こります。この状態でダイヤルを無理に回すとピストン棒が破損することがありますので、このような操作は行わないでください。

★ノルディペン10を落としてしまった

カートリッジやノルディペン10に損傷(ひび等)はありませんか？

⇒ 損傷がない場合は、針先から液が出てくるまで空打ちを行ってください。(→5ページ⑦)
カートリッジに損傷がある場合は交換してください。(→2ページ②～4ページ⑤)
ノルディペン10に損傷がある、またはあると感じる場合は、主治医にご相談ください。

★本体とカートリッジホルダーを組み立てる時に、
誤ってダイヤルを回してしまった

⇒ もう一度カートリッジホルダーをはずして3ページ③に戻るか、そのまま組み立てた後7ページ⑨の操作に従ってください。注入ボタンは押し込まないでください。
組み立てる際は、ダイヤルを持たないように注意してください。

保管とお手入れ

- カートリッジを装着したノルディペン10は保管ケースごと冷蔵庫に入れ、凍結を避け保管してください。（直射日光や高温にさらさないでください。）
カートリッジは35日以内に使い切ってください。
- ノルディペン10は注射針をはずして保管してください。カートリッジの液もれと空気混入の原因となることがあります。
また、針詰まりや感染の原因となるおそれもあります。
- ノルディペン10は正確な注射ができるよう設計された注入器です。取扱いには十分注意し、落としたり衝撃を与えたりしないでください。
また、保管ケースに入れて持ち運び、ほこりやごみに十分注意してください。
- 保管ケースには、ノルディペン10のほかに予備のカートリッジ及び注射針も入れておくことができます。
- カートリッジの保管方法については、添付の注意文書に従ってください。
- ノルディペン10のよごれは中性洗剤を含ませた布で拭いて落としてください。洗ったり、油をさしたり、消毒用アルコールに浸したりしないでください。ほこりやごみは柔らかいブラシで落としてください。
- お子様の手の届かないところに保管してください。ノルディペン10、ノルディトロピンS注10mg、注射針の保管、廃棄等、取扱いには十分注意してください。

耐用年数：使用開始日より3年

ノルディペン10に関する疑問・質問等はお気軽に
下記のノボケア相談室までお問い合わせください。

ノボケア相談室

(フリーダイヤル)

0120-180363

受付：月曜日から金曜日まで
(祝祭日・会社休日を除く)

午前9時～午後6時

